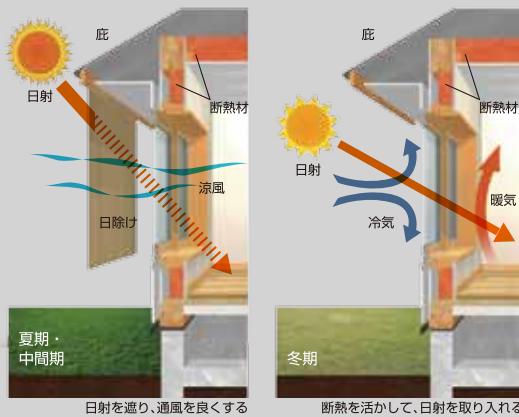




## 5 地球環境に配慮した住宅づくり

～省エネルギー性・快適性の向上～

エネルギー消費削減は、温暖化などの環境負荷を抑える取組として重要です。住宅の居住時のエネルギー消費を削減するためには、地域の気候特性や住まい方に配慮して、建物の断熱性能や日射遮蔽性能の向上、自然風・太陽熱などの自然エネルギー活用、暖冷房・給湯などの設備の高効率化などの技術を、適切に選択することが大切です。省エネルギー化は、快適性の向上や光熱費の削減にもつながります。



## 4 耐震性に優れた住宅づくり

～バランスのよい耐力壁の配置～

建物には、縦方向の自重と横方向の地震や風の力がかかります。上部構造が受けた力を、基礎を介して地面に円滑に伝えることで、構造安全性が確保されます。力を伝えるためには、適切な量の耐力壁をバランスよく配置する、2階床や屋根面をしっかりとつくる、接合部を強固に緊結することが必要です。それにより、大きな地震や風が発生しても、倒壊せずに損傷を少なく抑えられ、修復が行い易くなります。